

英語力向上推進事業

—No.34 坂戸市—

【事業の目的】

中学生の英語力の向上を図るため、市内の公立中学校に通うすべての生徒が実用英語技能検定（以下、英検）を受検する機会を設け、英語教育の更なる充実を図ります。

【事業の内容】

市内全ての中学生が1年間に1度、英検を受検する機会を設ける為に、受検料を全額負担します。各中学校を会場（準会場）とし、英検3級合格者50%以上を目指します。

【事業年度】

平成30年度～

【予算額(千円)】

7,370千円（平成30年度）

※検定受検料 2,720人分

（内訳）

- ・1年生 5級 900人
- ・2年生 4級 700人
3級 200人
- ・3年生 3級 700人
準2級 160人
2級 40人
- ・児童英検 GOLD 20人（特別支援学級生徒用）

【財源】

一般財源（市）

【事業実施に至った背景・経緯】

本市の現状として、中学校卒業までに英検3級以上の合格者を50%以上とする国の成果指標に対して、英検3級以上の合格率は低い状態でした（平成28年度学生英検受検率：10.5%、3級以上の合格率3.6%）。

低い受検率と合格率が課題であり、中学生全員が英検を受検する機会を設けることで、国の成果指標達成を目指します。

【事業のPRポイント】

- 市内の各中学校を会場とし、一斉受検とすることで、確実に生徒全員が受検できます。
また、3級以上から対象になる二次試験の会場についても市内の中学校を試験会場として提供し、生徒の安全確保に配慮しています。
- 同日受検であるため、正確に生徒の英語力が測定できます。
- 受検費用を公費で負担することで、保護者の負担軽減が図られます（3級受検料3,400円）。
- 生徒の英語力を客観的に測定できるため、教員の指導技術の改善が期待できます。
- 年3回実施される英検のうち、第2回が公費負担の対象であることを生徒及びその保護者に早めに周知し、受検機会を逃さないよう努めています。
- 全生徒が自ら受検する級を選び、その受検料を公費で対応することは、県内初となります。

【事業実績・成果・今後の展開】

平成30年10月5日の第2回検定試験で受検します。今後も生徒全員を対象とし、国の成果指標である、英検3級合格者50%を目指します。

〔 連絡先 〕

学校教育課 指導担当 049（283）1331（内線577）